



平成26年7月1日発行

# 社会参加委員会便りNo. 4

名古屋市高年大学「鯨城学園」学生協議会  
社会参加委員会  
(名古屋市中区栄1-23-13鯨城学園内)

## 平成26年度にあたって

学生数の大幅増加、学園指導者の大幅変更・削減と平成26年度の鯨城学園の体制は大きな変革期を迎えることとなり、この様な環境下においても私共鯨城生に期待されるものは大きく、社会参加活動への参画拡大と地域社会への貢献拡大を図らねばなりません。それが為、社会参加委員会としてもこの変革期に対応する体制づくりを図りスタートを致しました。基本的には学生協議会社会参加委員及びクラス社会参加委員を倍の人員に拡大し、学生協議会社会参加委員6名、クラス社会参加委員56名、総勢62名に拡大し、4班制に組織化し、この軍団が報・連・相を密にし、クラス委員はよりクラスに密着し学生とのパイプ役に努め、活動の輪を円滑に回転させなければならないと考えます。来年度は更に学生数大幅増の計画であり、今年はそのに対応できるだけの基礎固めをしなければならないと考えます。ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。  
社会参加委員長:花井興亜

## ボランティア活動の参加状況について

### I. 「東日本大震災」被災者支援街頭募金(3月8日 土曜日)

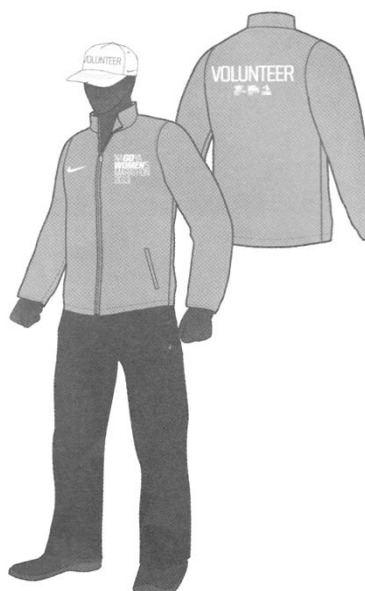
雪もちらつくとても寒い日となりましたが、鯨城学園在校生が松坂屋本店前付近で声をからし”東北大震災、義援金のご協力をお願いします”と募金を呼び掛けました。活動時間は2時間でしたが、子供連れや若い人など多くの方が募金に応じて下さいました。特に年配女性の方が多かったようで、やさしい心使いが身にしみました。その後オアシス21に栄地区参加者全員が集合し、報告が終わった後14時50分 東北の方角に向かって黙とうを捧げました。

鯨城学園参加人数⇒約75人 募金金額総額⇒650,669円

### II. 名古屋ウィメンズマラソン(3月9日 日曜日)

今年も名古屋市の一大イベントであります名古屋ウィメンズマラソンのコース整理に関するボランティアに参加しました。活動はコース後半西側が鯨城学園の担当区域でした。9時過ぎに集合し、15時過ぎに解散という大変長い活動時間でしたが、好天に恵まれ、また参加メンバー全員がきっちり役割を果たすことにより楽しく任務を果たすことができました。

在校生参加人数⇒約500人



参加者全員に送られる感謝状。もちろん支給されたウェアと帽子も記念品になります。

マラソンフェスティバルナゴヤ愛知2014-2  
ボランティア感謝状



鯨城 太郎 様

おかげさまでボランティアの参加人数9,000人！あなたもその一人です。大会とランナーを支えてくださいましたことに感謝します。

平成 26年 3月 9日

マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知実行委員会

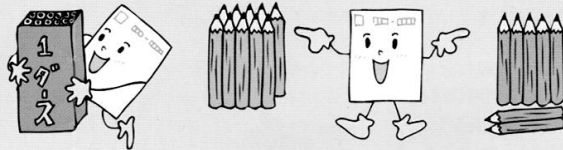
### Ⅲ. 書き損じはがきキャンペーン(3月26日集計)

鯉城学園7階のボランティアセンターに設置してある「書き損じはがき回収箱」に学園の皆様から投函された書き損じはがきを資金化した結果10,150円となりました。日本ユネスコ協会連盟を通じて発展途上国の識字教育団体による寺子屋の建設運営等に充てられます。現在も設置を継続しておりますので書き損じはがきを投函することで小さなボランティア活動に参加しましょう。

# 10,150円

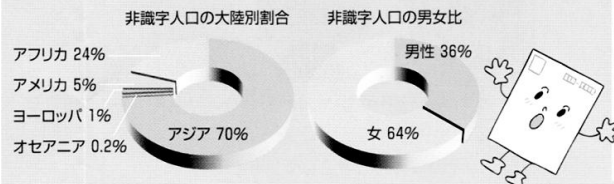
■1枚の書き損じはがき(50円)で買えるもの

インド えんぴつ1ダース カンボジア えんぴつ10本 ネパール えんぴつ7本



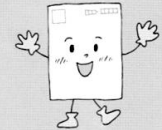
■世界の非識字者数

ユネスコの推計(2004年)によると、世界で9億人以上いるとされる非識字者のうち、7割がアジアに集中しており、またその2/3が女性となっています。



書き損じはがきって  
どんなはがき?

ポストに入れていない  
官製はがきです。



1. 汚れてしまったもの  
シミ、住所の書き間違いなど
2. 余ったもの  
印刷しすぎた年賀状など
3. 古くなったもの  
額面が50円でないものでも結構です。

### Ⅳ. 14春の藤前干潟クリーン大作戦(5月17日 土曜日)

今後の参加を前提として「藤前干潟のクリーン大作戦」に事前調査目的として参加しました。ラムサール条約に登録された藤前干潟は名古屋市民が誇るべき市民活動の成果です。大都市圏でこのような湿原を維持しているのは名古屋市だけです。参加した社会参加委員のメンバー12名は活動の中心地である藤前会場でゴミ拾いをしました。殆どがペットボトルなどプラスチックごみで石の間に挟まったゴミを一つ一つ拾い上げゴミ袋に詰め込むといった人力に頼らなければならない作業でした。参加者の中には子供連れの参加もありました。まさに今秋名古屋で開催される「ESDユネスコ世界会議」のお手本のような光景も見受けられました。今回把握した問題点を整理解決したうえで14秋のクリーン大作戦に学園全体として参加準備を進めていきます。



### “ボランティアセンター(社会参加サロン)”とは何?

28期生ボランティア活動実態調査を実施し80件を超える多くの回答を頂きました。又、29期生ボランティア活動調査表によっても在校生の皆さんがボランティア活動に関心をお持ちであることが昨年調査結果同様うかがわれます。毎週水・金曜日の教養講座終了後、昼食をとる前に一度7階事務所窓口横に併設されている在校生による在校生のためのボランティア活動情報交換場所、ボランティアセンター(社会参加サロン)に是非立ち寄って下さい。社会参加委員が待機(12:00~13:00⇒2学期より)し、皆さんのお役に立てる情報交換のお手伝いをさせていただきます。将来の自分の為にも、地域&仲間との横のつながりを押し付けでない自分に合ったボランティア活動を通じ培っていききたいものです。

### 今後の全学対象ボランティア活動計画

- 10/4(土) 鶴舞公園クリーンキャンペーン
- 10/25(土) 藤前干潟秋のクリーン大作戦(計画中)
- 11/1(土) 堀川清掃大作戦
- 3/7(土) 東日本義援金活動
- 3/8(日) 名古屋ウィメンズマラソン2015

**編集後記:**29期生の新メンバーを迎え初の発行でした。社会参加委員4班のメンバー、および各班の協力によりまして無事完成にこぎつけました。今後学園内の社会参加活動にまつわる話題を大小を問わず掲載していきますので色々な情報提供をお願いします。